

浅野川線 瓦版 あさでん

13号車

平成24年8月発車



内灘

北鉄金沢

おとなもこどもも北陸鉄道で楽しもう! サマーキャンペーン2012

北鉄電車と路線バス車両で行く社会見学ツアー

自分たちの住んでいるところを、もっと知ることも、大事なお勉強。

北鉄の電車＆バスツアーで、ものしり博士になってみよう!



おとなも、こどもも、社会見学

特別公開のコマツ金沢工場 大野醤油工場見学ツアー

大きな油圧ショベルは、どうやってできあがっていくのかな?
毎日使う醤油は、どうやって作られるのか、見てみよう!

●行程／北鉄金沢駅(8:30集合) → (浅野川線電車) → 内灘駅(車両工場見学) →
コマツ金沢工場(見学) → 直源醤油(工場見学) → 金沢駅西口(12:50頃予定)



油圧ショベルを
作っている工場を
特別公開!



醤油の歴史を学ぶ
講座もあるよ!

社会見学ツアーのご予約・お問い合わせは

北鉄航空

☎(0120)316-100 ☎(076)242-3337

■旅行企画・実施／株式会社 北鉄航空
観光庁長官登録旅行業第1702号 日本旅行業協会(JATA)会員
本社:金沢市泉本町7-7 総合旅行業務取扱管理者/古田和己



生ビール飲み放題
おつまみ弁当・お茶付
(その他、持ち込みOK)

耳より情報

大人だって
楽しみたい!

ビール電車

●運行日／9月1日(土)※1運行方向が逆になります。

9月8日(土)・9月15日(土)

●参加費／お一人様 3,000円(電車運賃込み)

女性で、ゆかたまたは和服着用の方は
1,000円引き

●定員／1便あたり 64名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

●運行時刻

行き 野町駅 17:50発 → 鶴来駅 18:20着(鶴来駅でトイレ休憩・約39分間)

帰り 鶴来駅 18:59発 → 野町駅 19:33着

※1 9月1日のみ鶴来駅発

行き 鶴来駅 17:40発 → 野町駅 18:17着(鶴来駅でトイレ休憩・約8分間)

帰り 野町駅 18:25発 → 鶴来駅 18:57着

詳しいお問い合わせ・ご予約は

鉄道部 ビール電車係 ☎(076)272-2221 (月～金 9:00～17:00)

●各イベント会場で、弊社係員が写真撮影をしております。写真は今年度以降の広報などに使用させていただきます。あらかじめご了承ください。

粟ヶ崎

蚊爪

北間

大河端

七ツ屋

上諸江

磯部

割出

三ツ屋

三 口



浅野川線 駅の歴史シリーズ④



【電車が交差する駅・三ツ屋】

三ツ屋駅は、始発になる北鉄金沢駅と内灘駅を除けば唯一の「上下の電車が並ぶ駅」です。「必ず」と言ってよい程、電車が交差します。金沢駅行きの電車が内灘行きの電車が来るのを待ちます。その間、警報機が鳴り続けます。その音を聞いて、走る人もいます。運転手さんが走って来る人を見て、ドアを閉めないで待っていることもあります。



ちょっといい話 1

最初に気づいたのは、20年前だったでしょうか。三ツ屋駅が改裝され、スチール製のベンチになった頃だったと思います。座ると冷たい茶色のスチール製のベンチ一台に、可愛らしい座布団が数枚結ばれていました。しばらくして二台のベンチに数枚ずつの座布団が結ばれていきました。座布団の材質も色も統一されたものではありませんでした。三ツ屋駅を利用する三ツ屋町、弓取町、そして対岸の北寺町のどなたかの善意によるものだと思いました。

三ツ屋駅の座布団は今も結ばれています。でも、より可愛らしくなっていて色が異なっているように思います。「善意の方」の善意が引き継がれている「可愛らしい座布団」です。



ちょっといい話 2

三ツ屋町と弓取町で、月一回ずつ合計二回「三ツ屋駅の清掃」をしています。最初の頃は、敷石の中に入り込んでいるタバコの吸い殻と、草むらの中にあるお菓子の包み紙や空きカン、ペットボトルの量に驚きました。「ポイ捨て」は、タバコだけではなかったのです。でも最近は、拾うゴミの量が少なくなりました。駅に置いてあったごみ箱とタバコの灰皿が撤去されています。ポイ捨てが格段に少なくなったことから、人の心の変化を感じ取れる「三ツ屋駅の清掃」です。

玉田茂治さんに聞いた話から

玉田さんは、三ツ屋町でただ一軒、稻を育てている方です。「三ツ屋は9軒やった。蓮覺寺というお寺もあった。蓮如さんの時は露店も出て、賑やかだった。」ということから、三ツ屋駅と八幡神社のある一角に9軒の家と寺社があり、他は全部田んぼだったのです。その田んぼが、「こちらに3枚、あちらに3枚。ポツンと離れて1枚」になり、家ばかりになってしまったのが現在の三ツ屋町です。



白山と蚊爪の堰

「三ツ屋と三口は、用水を蚊爪の堰から取り入れている。蚊爪に年貢を…。」と聞きました。松寺橋の上流に蚊爪の堰、下流に大河端の堰があることを教えてもらいました。この辺りの田んぼの水は、すぐ横の浅野川から取り入れられていることを初めて知りました。「蛇力口」の堰だったそうです。この辺りは浅野川の最下流です。浅野川が増水すれば用水の取り入れ口は水が噴き上ることでしょう。そして、低地なので排水に時間がかかります。それで、浅野川からの取り入れ口の水管は、当番制の共同作業だったそうです。

三ツ屋町には、幹となる三本の用水が現在も流れています。その流れが、真っ直ぐ東から西に向かっている理由が理解できました。浅野川から弓取川に向かって流れているのです。また、三ツ屋町の住宅の中を縦

横に深い溝が直交している理由も理解できます。溝掃除には深過ぎる溝は、全部用水路だったのです。

7枚の田んぼの田植えが終わっています。この頃は用水が勢いよく流れています。狭いけど深い側溝に子ども達が数人入っていました。タモを持って、魚を捕っています。見ると、稚アユでした。浅野川から用水に稚アユが群れて入って来ていたのです。

30年ほど前は、町内の用水には多くの生き物がありました。夕方になると、ザリガニが並んでエラの片方を空気に触れていました。潮の干満で弓取川が増水すると用水が増水します。すると、用水から田んぼにフナが入って来て、列を作つて背びれを出して泳いでいました。フナの産卵なのです。ホタルが家に入って来ることもありました。そんなことを思い出させてくれた「子ども達の用水遊び」でした。



「浅野川の堤防沿いに道があり、内灘と金沢の間の荷物の往来が多かった。その道に三軒の茶屋があった。それが三ツ屋という地名になった…」と水を向けると「…と言われているけど…。」と、確定を避ける言葉が返ってきました。証明できる記録等が発見されていないようです。それで、今となっては「言い伝え」の範囲と理解することにしました。

旧北鉄三明線の羽咋と高浜の中間点は柴垣です。柴垣の長手島を見晴らせる高台に「三軒茶屋」という地名があります。それを知っている者としては、三ツ屋は電車が交差する中間点だから「三軒の茶屋」というのは真実味がありそうに感じます。また、三ツ屋駅から堤防に上がると、白山と立山連峰が見えます。その景観からも「茶屋で一服」があった、と思いたい気がします。

これからも、色々な情報を載せてていきます。

「こんな話はないのか」など、ご意見いただければ幸いです。
よろしくお願ひいたします。

浅伝1~12号車はHPで読めます

北陸鉄道 検索

<http://www.hokutetsu.co.jp/>

発行: 北陸鉄道 鉄道部「浅伝」係(河崎)

TEL.076-272-2221

協力: 金沢市交通政策課 TEL.076-220-2038
内灘町産業振興課 TEL.076-286-6708